



—宝池プレイパーク—

平成24年度

PLAY PARK

かさいのようす

早月



H24年 5月 6日 (日)	
天候: 雨のちくもり	気温: 21.0℃
内容: ☐ 輪投げ ☐ フラフープ ☐ コマ ☐ 竹馬 ☐ ケン玉 ☐ なわ跳 ☐ ドッジビー ☐ 折り紙飛行機	
参加者数	140 人
スタッフ: 2 人	
・リーダー: — ・緑化協会: 野田、小川	

H24年 5月 13日 (日)	
天候: 晴れ時々曇り	気温: 24.0℃
内容 ☐ 輪投げ ☐ フラフープ ☐ コマ ☐ 竹馬, ☐ ケン玉 ☐ なわ跳 ☐ ドッジビー ☐ 折り紙飛行機 ★森のたんけん	
参加者数	300 人
スタッフ: 7 人	
・リーダー: しゅん、けけ、ヒニー、 なかたに、けんこば、つとむさん ・緑化協会: 野田、	

H24年 5月20日 (日)	
天候: 曇りのち晴れ	気温: 24.0℃
内容 ☐ 輪投げ ☐ フラフープ ☐ コマ ☐ 竹馬 ☐ ケン玉 ☐ なわ跳 ☐ ドッジビー ☐ 折り紙飛行機 ★森のたんけん ★ドッジボール ★丸太伐り ★名札づくり	
参加者数	350 人
スタッフ: 8人 (野鳥観察は別途掲載)	
・リーダー: しゅん、けけ、ヒニー、 なかたに、けんこば ・緑化協会: 野田・小川・小谷	

H24年 5月 27日 (日)	
天候: 晴れ	気温: 28.0℃
内容 ☐ 輪投げ ☐ フラフープ ☐ コマ ☐ 竹馬 ☐ ケン玉 ☐ なわ跳 ☐ ドッジビー ☐ 折り紙飛行機 ★森のたんけん	
参加者数	350 人
スタッフ: 5 人	
・リーダー: しゅん、けんこば、 インドアテニススクール・ノア ・緑化協会: 小川	

〇5/6 ゴールデンウィーク最終日。
朝に雨が降ったため、来園者が
少ない一日となりました。
でも、前日の喧騒とはちがったのん
びりした公園を楽しむことができた
と思います！



・新リーダーの
しゅんは、すっか
り‘コマ’指導
担当となった
ようす??



・中学生のボランティア、竹馬挑戦中！



〇13日は、男性スタッフ6人という
今までにない、熱いメンバー構成となり
ました！！
みんな、とっても子供たちとの対応が
うまく、安心です^^
男手がたくさんということで
丸太運びなども手伝ってもらいました
たのしい〜〜！！



・森の中の窪地は、ちょっとスリリング
な遊び場。。今、大人気のエリアです

〇20日は、野鳥観察に行ったメンバーがそのまま午後からは、プレイパークで
一緒に遊びました。 やわらかいボールで‘ドッチボール！’
リーダーも混じって、かなり白熱した戦いになりましたよ

久々に丸太をきったり、その木片で工作をしたり・・・スタッフが多いと、
いろんなことができますね〜

〇27日、インドアテニススクール・ノアの
メンバーが参加。
プレイパークの一角で、テニスを楽しみま
した・・・といっても、
ネットがないほうが良いや！ということ
になったようです。



・野球にストラックアウト、 草つき、かけっこ、フラフープ・・・
小さなスペースの中で、 思い思いにあそんでいます

H24年 5月 19日 (土)	
13:00～16:00	
天候:曇り時々晴れ 気温: .0℃	
プログラム 「野草をたのしもう！」 ～草花観察・草木染でちぎりえをつくろう～	
参加者数	27 人
スタッフ: 5 人	・スタッフ: 岡田さん、 スーフィー、たむたむ ・緑化協会: 野田・小川

★★今月は第1土曜日が「ちぎっこまつり」とかさなったため、第3土曜日と日曜日に連続して開催となりました。

●この季節にしか楽しめない「春の野草」
 多くの家族の参加でにぎわいました！
 春は食べられる草もたくさん。いろんな葉っぱ、花、そこにやってくる虫たちを観察しました。ピーピー豆で音を出すのにも夢中！親子でじっくり観察に時間をかける姿の印象的でした。



大きなミミズに大騒ぎ！



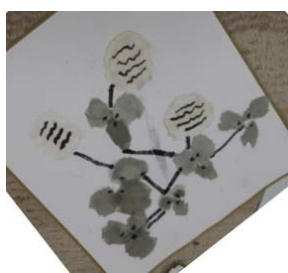
材料は、ヨモギの葉とイタドリ根です



下絵を描いて、ちぎった和紙をはっていきます
 ノリをつけるのが、なかなか難しい・・・

そのあとは、和紙の草木染めに挑戦！
 自分で染めた和紙
 +他の色の和紙も使って、ちぎり絵の作品を完成させました。
 ちょっと欲張りなプログラムでしたが、みんな根気良く、熱心に取り組みました。

作品の一部紹介でっす！



H24年 5月 20日 (日)	
9:00～12:00	
天候:晴れ時々曇り 気温: .0℃	
プログラム 恒例 「春のことに あいにいこう！」	
参加者数	8 人
スタッフ: 4 人	・スタッフ: 小泉さん(講師) ヒニー ・緑化協会: 野田・小川

●新緑の中、ハイキング気分
 恒例の春の野鳥観察です。今回は9時集合！
 プレイパークで準備と解説、簡単な観察後
 森へと出発しました！
 数種類のカラ類が混じって群れをつくって移動する「混群」の姿がよくみられました。



こけて草が痛い！とおんぶして
 もらう妹・・・やさしいお兄ちゃんです。

かなりにぎやか！一行となり、中学生リーダーと楽しみながら、池へ・・・
 ちょっと種類が少なかったですが、とても満足の観察会となりました！



池畔でのんびりお昼寝していたカルガモのペア・・・みんなの視線に耐えられなくなって、水の中へ非難してしまいました。



野鳥ではありませんが・・・
 いつも仲良しガチョウのペア。
 みんな気持ちよさそうに泳いでましたよ！



★ ★ 第47回 「ちびっこまつり」が開催！ ★ ★

(京都児童文化児童教化連絡協議会 ～京都教育大・佛教大・大谷大サークル連携～ との共催)

★マーブリングやゲーム・工作 & 集団あそび などをたのしみました！



笑顔が
いいですね～！



★アートプロジェクト グループ連携
‘らくがき大先生’ スタート！



○アートプロジェクトメンバー作成の‘看板’
とてもアーティスティックで素敵
注意看板とは思えない？！

★TV番組でおなじみ ‘逃走中’ ならぬ
こどもの楽園 ‘逃送中?!’ 試行かいさい★



・ガチャピン&
サルさん登場



・ハンター役の面々
絶対に笑いません



★★ ミニプレイパーク

～～ 宝が池 森の幼稚園 をめざそう！～～

「幼児向け プレイパーク」



☆3月から開始した
幼児対象の自由遊びを楽しむミニプレイパーク
‘森の幼稚園’をめざしたい！という
お母さんたちと連携しながら、開催しています。
今月はお天気が悪く、
ちょっとおやすみモードでした。

・・・ ということで、雨で来園者がなかった22日は
今後の内容について、スタッフでいろいろアイデアを
考える貴重な時間となりました！

今後の展開に乞うご期待？！



H24年 5月 11日 (金)

14:00～15:30

天候: 曇り 気温: 0℃

内容

☐絵本読み聞かせ ☐公園のおさんぽ

参加者数 4人

スタッフ: 2人

・緑化協会: 小谷・野田

H24年 5月 22日 (火)

10:00～11:30

天候: 曇り時々雨 気温: ℃

内容

☐絵本読み聞かせ(予定)

参加者数 あめのため・・・ 0人

スタッフ: 2人

・緑化協会: 小谷・野田

5月のプレイパーク&周辺の概況

- さわやかな季節。ゴールデンウィーク最終日に少し天気が悪くなった以外は、外遊びには絶好の日和に恵まれました。子どもたちだけのグループから3世代家族まで、様々な来園者が訪れました。
- 子どもの日開催の「ちびっこまつり」は、今年47回目。子どもの楽園が開園して以来、複数の大学の学生が連携し、主体的に実施してきたというすばらしい歴史があります。今年からは、このイベントにあわせて、プレイパーク関係スタッフはじめ、新メンバーも加わり新たな企画「逃送中?! &アートプロジェクト」に取り組みました。ちびっこ祭り運営の学生も含め、50人近いスタッフ、子どもたち、保護者が一体となって楽しめ、子どもの楽園の行事として、またプレイパークの定例プログラムとして育てていくことをめざし、「連携型の運営体制づくり」も始まりました。
- 新しい大学生リーダーに加えて、5月は、インターナショナルスクールの中学生在が授業の一環で参加してくれました。大学生よりも、子どもにとってはより年齢に近いこともあり、とてもなつかれていて大活躍でした。少し先輩の高校生リーダーも、中学生が来たことで刺激を受けたようです。大学生、高校生、中学生と違う世代の学生ボランティアと、リタイア世代のスタッフがそろった今月は、まさに理想的な体制となりました。これを機に、このような体制が継続していければ大変うれしい限りです。
- 新しい芽吹き季節ですが、林床には草本の姿はほとんどみられないさびしい状況です。その中で、木々の実生が、カシナガ被害木伐採あとの「ギャップ」に、わずかながら確認されています。これらが育って、あらたな林層を形成していけるよう、シカ害対策をできる範囲ではじめつつあります。

林床に「森林再生保護エリア」を数箇所設定し、人の立ち入りも抑制していきます。シカの進入をとめることは極めてむずかしいですが、一般的に設置されている「防鹿柵」がない中で、ロープなどの手じかな材料を使って、嫌忌効果を期待した進入抑制の対策をすすめていく予定です。



◆通常プレイパーク+ミニプレイパーク◆

- 久々に多くの学生ボランティア等が滞在したことから、親から離れてあそぶ子どもたちの姿も多かったようです。スタッフが多いときは積極的に、集団で楽しめるゲームなどを取り入れていく予定です。
- 自然の動植物が生息する森を再生することが、現在大切な取り組みのひとつですが、同時に見とおしがよく、入りやすくなった森の遊び場としてのあり方も考え、関係者で共有し、森に負担をかけない遊び場づくりにも取り組んでいく必要があります。
- ミニプレイパークは、のんびりペースで継続中。
お母さんたちは大きな志をもってがんばっていますが、小さなこどもさんは、いろいろな面で予想が立ちません。無理せず長い目で、幼児が感性を育める素敵な場所づくりに取り組んでいきたいものです。

◆自然あそび教室◆

- 土曜日「野草をたのしもう」は、予想以上にたくさんの参加者がありました。この季節にしか見られない野草をテーマにしたことと、形ある作品ができあがるプログラムが惹きつけたようです。保護者とともに男女問わず、根気よく取り組める内容であり、今後、内容を見直しながら魅力あるプログラムに仕上げていきたいものです。
- 日曜日に開催した「野鳥観察」は、通常より早い9時集合でした。レクチャーなどを行い観察に出発後、10時に通常プレイパークがオープンする形となり、プレイパークと自然あそびを同時に開催する際に有効な時間設定と言え、今後も取り入れていきたいものです。
- このような運営をしていく上でも、継続的にプログラムを体験する自然あそびくらぶメンバーの定着をめざしていきます。

■□■ 「宝が池座談会」開催 ■□■

プレイパークがスタートした平成20年度から、不定期に開催している「宝が池座談会」。

5月17日(木)の午後、今年度の1回目が開催されました。京都府立大学の協力のもと継続されていますが、併せて、学生へのプレイパークの説明会としても対応いただいています。プレイパーク付近の動植物の状況および、宝が池で行われている調査研究の概要を共有しながら、今後の宝が池の姿、京都の森のあり方について提起していくことをめざしています。今年度は、12月にこの拡大会議として「シンポジウム」を開催する予定……現在、企画中です。